



みやぎ 2025

第48回 全国育樹祭

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

実施計画書【概要版】

令和7年3月

第48回全国育樹祭宮城県実行委員会

■開催方針

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われています。

<宮城県のこれまでの開催>

第6回（昭和30年）大衡村 【大会テーマ】林種転換拡大造林

第48回（平成9年）白石市【大会テーマ】森づくり大地に託す夢・未来

第48回全国育樹祭（令和7年）

大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

本大会の3つの柱

1. 持続可能な森林づくりの継承

- 「木を使い・植え・育てる」循環の大切さを伝える
- 「森と海のつながり」の大切さの理解を広げる
- 健全で活力ある森林を次世代へと引き継ぐ



2. 伝統と新技術による木材利用の発信 3. 震災の教訓の伝承と新たな価値の創造

- 地域に根差した木の文化や新しい木材利用の取組を発信



- 東日本大震災から復旧した海岸防災林を通じて震災の教訓を後世に伝える
- 海岸防災林が人々が集い、親しまれる場となるきっかけとする



「木を使い・植え・育てる」循環を世代をつないで共有する“みどりのかけ橋”として大会を展開。

宮城の木を使う伝統や新しい技術を紹介し、東日本大震災の経験を伝えながら、持続可能な社会の実現を支える森林づくりの精神と活動を県内外に広げていく大会とします。



■大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

ふくしま すすむ

- 作者 福島 進 さん（埼玉県本庄市在住）
- 説明 森をキーワードに、次の世代につなぐかけ橋をアピール

■大会シンボルマーク



- 作者 はま ちひろ 濱 千尋 さん（宮城県仙台市在住）
- 説明 緑を育て守る様子をキャラクターで表現しました。足は土、手は水をイメージしています。

ひらがなの「み」を使って親しみやすいユニークな表情にしました。

「み」には、宮城のほか、みどり、みんな、未来など育樹祭開催に向けた思いを込めています。

■大会ポスター（原画）



- 作者 のがみ あいか 野上 愛馨 さん（宮城教育大学附属小学校2年【令和5年度当時】）
- 画題 『植樹をしたよ』
- 説明 植樹に参加したときの絵をかきました。

■開催日・場所

(1) 全国育樹祭行事

主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

【お手入れ行事】

開 催 日 令和7年10月4日(土)
会 場 国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場
(白石市福岡深谷字白萩山39)
参 加 者 約300人

【式典行事】

開 催 日 令和7年10月5日(日)
会 場 宮城県総合運動公園(グランディ・21)
セキスイハイムスーパーアリーナ
(宮城郡利府町菅谷字館40-1)
参 加 者 約5,000人

【懇談会(歓迎レセプション)】

開 催 日 令和7年10月4日(土)
会 場 宮城県内ホテル(未定)
参 加 者 約300人



(2) 併催行事

【育林交流集会】

主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
開 催 日 令和7年10月4日(土)
会 場 名取市文化会館(名取市増田字柳田520)
参 加 者 約300人

【全国緑の少年団活動発表大会】

主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
開 催 日 令和7年10月4日(土)
会 場 活動発表大会: 白石市文化体育活動センター
ホワイトキューブ
(白石市鷹巣東2-1-1)
交 流 集 会: 宮城県総合運動公園(グランディ・21)
リフレッシュプラザ
(宮城郡利府町菅谷字館40-1)
参 加 者 活動発表大会: 約300人
交 流 集 会: 約150人

(3) 記念行事

【森林・林業・環境機械展示実演会】

主 催 宮城県、一般社団法人林業機械化協会
開 催 日 令和7年10月5日(日)、6日(月)
会 場 仙台塩釜港(石巻港区)雲雀野地区
(石巻市雲雀野町二丁目15-3外)
参 加 者 約20,000人

(4) その他の記念行事(開催実績)

【『昭和万葉の森』植樹祭 2024】

開 催 日 令和6年11月9日(土)
会 場 昭和万葉の森
(黒川郡大衡村大衡字平林117)
参 加 者 442人

【国民参加の森林づくりシンポジウム】

開 催 日 令和6年11月16日(土)
会 場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
(仙台市青葉区川内40)
参 加 者 318人

【宮城県みどりの少年団活動発表大会】

開 催 日 令和7年2月8日(土)
会 場 白石市文化体育活動センター
ホワイトキューブ
(白石市鷹巣東2-1-1)
参 加 者 168人

■お手入れ行事の概要

(1) 開催日

令和7年10月4日(土)

(2) 会場

国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場

南蔵王野営場 見取図



(3) 参加者

約300人(中央推薦、県知事推薦、白石市長推薦、県内林業関係団体等)

(4) 次第

次第	行事概要
記念育樹活動等	
参加者による育樹活動	会場内の樹木に施肥及び記念撮影 介添え：県内みどりの少年団等
アトラクション	県内にゆかりのある方による演奏で参加者を歓迎します
お手入れ行事	
皇族殿下御着	先 導：宮城県知事 御出迎え：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長
パネル展示御覧	説 明：県内みどりの少年団 第6回全国植樹祭(昭和30年)、第48回全国植樹祭(平成9年)の様子、 お手植え樹木の育成状況等
お手入れ	皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え樹木への施肥等 介 添 え：県内みどりの少年団、県内高校生
皇族殿下御発	先 導：宮城県知事 御見送り：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長

(5) お手入れ内容

① お手入れ対象樹木

樹種：ブナ、オオヤマザクラ

樹齢：28年(令和7年3月時点)

② お手入れ作業

皇族殿下による施肥等

■秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ(枝打ち)
第46回全国育樹祭・茨城大会■秋篠宮皇嗣妃殿下によるお手入れ(施肥)
第46回全国育樹祭・茨城大会

③ お手入れ道具

手鋸、肥料入れ、鋤、

お手入れ道具には、県産木材を積極的に活用します。



第47回全国育樹祭 お手入れ道具▶

<会場設営>

会場となる国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場は、蔵王国定公園内に位置することから、円滑な運営に必要な会場整備や仮設物等の設置は必要最小限度にとどめ、周辺の景観に影響を与えぬよう十分配慮します。



【お手入れ行事会場イメージ】

■式典行事の概要

- (1) 開催日 令和7年10月5日(日)
- (2) 会場 宮城県総合運動公園(グランディ・21)
セキスイハイムスーパーアリーナ
- (3) 参加者 約5,000人
(県外参加者 約1,500人、県内参加者 約2,000人
出演者・運営スタッフ等 約1,500人)
- (4) 次第

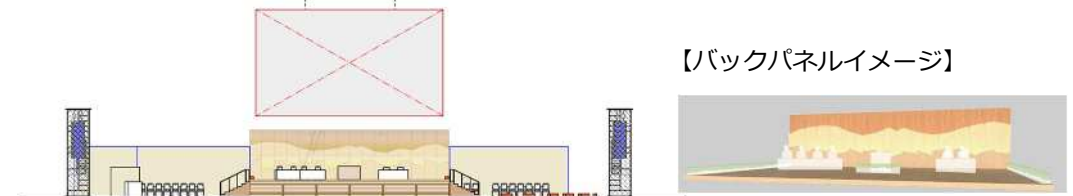
次第	行事概要
■プロローグ	
オープニングアクト	県内の高校生(音楽隊)による演奏で参加者を歓迎します
宮城県紹介映像	宮城県の魅力ある観光地、名所及び復興の様子等を紹介します
オープニングアトラクション	県内の高校生によるパフォーマンスで参加者を歓迎します
お手入れ行事紹介映像	前日に開催したお手入れ行事の様子を紹介します
奉迎準備	インターバル
■式典	
皇族殿下御着	先導:宮城県知事 御出迎え:大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長 先行後従:県内みどりの少年団
開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
三旗入場・緑の少年団入場	県内みどりの少年団
国歌独唱	国歌独唱:県内の音楽科の学生による独唱
主催者挨拶	大会会長(参議院議長)、宮城県知事
歓迎のことば	宮城県議会議長
皇族殿下のおことば	皇族殿下
表彰	緑化功労者等へ感謝状等を贈呈 贈呈者:大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、 (公社)国土緑化推進機構理事長、宮城県知事
緑の贈呈	全国緑の少年団活動発表大会の発表団へ苗木を贈呈
緑の少年団活動発表	代表緑の少年団の活動発表
メインテーマアトラクション	～森と海と人の物語～ 宮城県の海岸防災林や森林・林業の歴史に触れながら、森と海を守る人々の活動を紹介し、また、東日本大震災を乗り越え、今と未来をつないでいく人々の想いを県内の中学生を中心に歌で表現します
大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長
次期開催県挨拶	和歌山県知事
閉会のことば	利府町長
皇族殿下御発	先導:宮城県知事 御見送り:大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長
■エピローグ	
エンディングアトラクション	県内在住のミュージシャンにより、参加者全ての皆様に感謝の気持ちを込めたパフォーマンスを披露します

【式典行事会場イメージ】



【式典ステージ立面図】

ステージ背面には県産木材を使用したバックパネルを配置し、宮城県の南北に連なる奥羽山脈を表現し、宮城らしさを感じさせる作りとします。



【バックパネルイメージ】

(5) 会場装飾計画

飾花で用いるプランターには県産の花を植え、プランターカバーには県産木材を使用



会場のエントランス部分ウェルカムオブジェ
セタの吹き流し部分へ、イベント等の参加者に書いてもらった木製メッセージシートを貼付。

■アトラクションの概要

演出テーマ

“森と海と人”の物語



鳴子峡



松島湾



海岸防災林



緑の少年団



林業従事者

■プロローグ ～オープニングトーク、映像プログラム、歓迎パフォーマンス～

- 音楽隊による歓迎演奏とともに開会を告知。宮城県の魅力ある観光地、名所や各所の復興の様子を映像とナレーションで紹介。
- 高校生の書道ライブパフォーマンスによる歓迎ステージのち、前日行われたお手入れ行事の様子を映像で紹介。

ナレーター
山寺 宏一さん

序

「物語の始まり」

- 語り部が登場し、1600年から始まった海岸砂地地帯への植林の様子等を語り、未来を担う子どもたちへの伝承を願う。



AZ9ジュニア・アクトーズ

俳優
前原 滉さん

■メインテーマアトラクション

第一景

「宮城の海岸防災林」

●海岸防災林の歴史

語り部が子供たちに宮城県の海岸防災林の歴史について語る。

●海岸防災林を守る人々

子供たちが様々な団体を訪問し、それぞれの取組や思いを映像で紹介。



第二景

「宮城の森林・林業」

●森林・林業の役割

子どもたちが、森林資源の循環～木を伐る・使う・植える・育てる～の大切さを紹介。

●宮城県森林・林業を守る人々

子どもたちによる様々な団体へのインタビュー映像を紹介。
仕事の内容、やりがい等、担い手たちの声を届ける。



第三景

「未来への架け橋」

●地元の中学生登場

多数の地元中学生や出演者が、ステージに登場。

●「花は咲く」の大合唱

東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を全員で大合唱。

■エピローグ ～ファイナルステージ～

- 県内在住のミュージシャンによるライブステージ。

MONKEY MAJIK



■ 懇談会（歓迎レセプション）の概要

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化功労者等を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

- (1) 開催日 令和7年10月4日（土）
 (2) 会場 宮城県内ホテル（未定）
 (3) 参加者 約300人
 (4) 内容 全国育樹祭での表彰者に祝意を表する場として開催
 (5) 次第

次 第	行事概要
皇族殿下御着	先 導：宮城県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、林野庁長官、 （公社）国土緑化推進機構理事長、和歌山県知事、 宮城県議会議長
開会のことば	宮城県議会議長
主催者挨拶	大会会長（参議院議長）
乾杯	宮城県知事
歓談	皇族殿下による緑化功労者等へのお声掛け、歓談
皇族殿下御発	先 導：宮城県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、 （公社）国土緑化推進機構理事長

■ 育林交流集会

県内外の林業・木材産業の関係者や次代を担う学生など、森林・林業に高い関心を持つ人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに講演等を行います。

- (1) 主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
 (2) 開催日 令和7年10月4日（土）
 (3) 会場 名取市文化会館
 (4) 参加者 約300人
 (5) 次第

次 第	行事概要
主催者挨拶	宮城県、（公社）国土緑化推進機構
来賓祝辞	林野庁、（一社）全国林業改良普及協会
歓迎のことば	名取市
講演等	森林・林業に造詣のある方による講演
閉会のことば	宮城県

■ 第47回全国育樹祭・福井大会



■ 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや日頃の活動の取組について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

■ 第47回全国育樹祭 福井大会

【活動発表大会】

- (1) 主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
 (2) 開催日 令和7年10月4日（土）
 (3) 会場 白石市文化体育活動センター
 ホワイトキューブ
 (4) 参加者 約300人
 (5) 次第



次 第	行事概要
発表団入場・各団紹介	緑の少年団
主催者挨拶	宮城県、（公社）国土緑化推進機構
歓迎のことば	白石市
励ましのことば	林野庁
活動発表	緑の少年団（全国選出5団）
特別講演	次世代の自然環境や社会環境等に関する講演
講評	（公社）国土緑化推進機構
みどりの奨励賞 表彰式	緑の少年団（全国選出5団）
緑の少年団育成功労者 表彰式	団体・個人
閉会のことば	宮城県

【交流集会】

- (1) 主 催 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
 (2) 開催日 令和7年10月4日（土）～5日（日）
 (3) 会場 宮城県総合運動公園（グランディ・21）
 リフレッシュプラザ
 (4) 参加者 約150人
 (5) 内容 県内外の緑の少年団が交流を深めるための
 レクリエーション等

■ 第47回全国育樹祭 福井大会



■ 森林・林業・環境機械展示実演会

充実する国内の森林資源の活用には欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林・林業・木材産業の効率化・高度化に資するメーカー等が最新技術を展示実演します。

- (1) 主 催 宮城県、一般社団法人林業機械化協会
 (2) 開催日 令和7年10月5日(日)、6日(月)
 (3) 会 場 仙台塩釜港(石巻港区)雲雀野地区
 (4) 参加者 約20,000人
 (5) 次 第

10月5日(日)

項 目	内 容
主催者挨拶	宮城県、(一社)林業機械化協会
来賓祝辞	林野庁
歓迎のことば	石巻市
テープカット	宮城県、(一社)林業機械化協会、石巻市等
閉会のことば	(一社)林業機械化協会
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

10月6日(月)

項 目	内 容
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

■ 第47回全国育樹祭・福井大会



■ スケジュール

令和7年秋季の開催に向け、記念行事の開催や会場の整備、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係
令和6年度	10月			お手入れ行事会場の整備等
	11月	『昭和万葉の森』植樹祭 2024 国民参加の森林づくりシンポジウム		
	12月			
	1月			
	2月	宮城県みどりの少年団活動発表大会		
	3月	実施計画の決定・公表		
令和7年度	4月	大会実施本部設置	一般参加者の募集	各種練習会・研修会
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			式典行事 リハーサル
	9月		お手入れ行事及び式典行事 総合リハーサル	
	10月	10月4日 第48回全国育樹祭(お手入れ行事) 10月5日 第48回全国育樹祭(式典行事) 10月4日～6日 併催・記念行事	前日リハーサル	仮設物の設置
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月	記録誌の発行		